

# 市立根室病院改築計画

## 命を守り、安心を生む病院へ

昭和33年に診療棟・管理棟が建設された市立根室病院は、建物の老朽化が著しく、療養環境の改善や医療機能の充実が求められてきました。

このため、市では新病院建設を重点施策と位置付け、昨年に「新・市立根室病院新築基本構想」および「新・市立根室病院新築基本計画」を策定し、平成24年12月の開院を目指し取り組んでいます。

市立根室病院改築計画は、地域の基幹病院としての機能の充実や、地震の揺れから建物や患者などを守る「免震構造」を採用することにより、災害に強い病院にする計画となっています。

### 新病院改築計画の概要（4月30日現在）

- 計画期間 着工：平成23年 2月頃  
(予定) 開院：平成24年12月頃  
完成：平成25年 7月頃
- 建設場所 根室市有磯町1丁目2番地
- 敷地面積 13,007.47㎡
- 延床面積 13,497.00㎡
- 規模・構造 鉄筋コンクリート造（免震構造）地下1階、地上4階
- 病床数 135床（一般病床131床、感染症病床4床）
- 診療数 18診療科
- 駐車台数 約270台（敷地内約210台、敷地外約60台）

### ■事業費（単位：百万円）

建設費（建築・解体・外構）	3,670
医療機器・器具備品	1,265
設計・調査費等	296
事業費計	5,231

※現在、詳細な設計を行っていますので、今後延床面積等を変更することがあります。

### 信頼あふれる医療サービスの提供を

市立根室病院は明治5年に官立根室病院として開設され、地域の基幹病院として救急告示病院や災害拠点病院などの機能と役割を担ってきました。

現在の地域医療を取り巻く環境は非常に厳しく、当院も新医師臨床研修制度などの影響により、平成19年度には常勤医師数が6人と激減しましたが、オール根室体制で医師を招へいた結果、現在は16人の常勤医体制で各種診療を行っています。

このような中で新市立根室病院の基本設計がまとまったことは、長年の念願である新病院建設に向けた大きな第一歩であり、今後とも安定した医師体制の確立や良質な医療サービスの提供に努めていきますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



市立根室病院院長  
東 浦 勝 浩

### 地域に根付き、愛される病院を目指して

市立根室病院は、市民の医療を守る公的医療機関として地域医療の中心的役割を果たしていますが、経年経過による建物の老朽化のため、療養環境の充実や耐震性の強化が求められてきました。

そこで、新病院の建設に向け、市立根室病院整備市民委員会や市議会などからさまざまなご意見を頂きながら、昨年に新病院建設基本構想および基本計画を策定し、この度、基本設計がまとまりました。

今後は、新病院の基本理念である「市民の健康を守るため良質な医療を提供し、市民に愛される病院」「市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院」を踏まえた施設整備を行うため、実施設計においてさらに検討・協議を重ね、地域の基幹病院としての機能を十分に発揮できる病院を目指します。



根室市長  
長谷川 俊 輔